

## 第1回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 日時  | 令和6年7月4日(木) 午前9時30分～午前11時30分 |
| 場所  | 豊橋市役所 東122会議室                |
| 報告者 | 安形 義光                        |
| 出席者 | 別紙のとおり                       |
| 傍聴者 | なし                           |

### 1 開会

---

- ・欠席者 神委員
- ・事務局から委員の半数以上の出席が確認できたため規則に基づき本会議が有効に成立していることを説明。
- ・今回の議事は公開とする。
- ・議事録の署名は、河井委員と吉田委員に依頼する。

### 2 市民協創部長 あいさつ

---

○市民協創部長あいさつ

### 3 委員紹介

---

○委員名簿の順に委員が自己紹介。その後、事務局が自己紹介。

### 4 議題

---

#### (1) 市民協働推進補助金制度改正等について

○事務局から、資料1、参考資料1について説明。

- ・委員：市民協働推進補助金の交付を受けた団体が、その後も活動を継続しているか確認はしているのか。
- ・事務局：団体へアンケートを実施して活動の確認をしている。
- ・委員：補助金を受けた後、解散したというのは問題ないのか。
- ・事務局：理由を確認すると、活動拠点としていた施設がなくなったので活動をやめてしまったものやコロナで活動を縮小せざるを得ず、そのまま休止している団体もある。また、活動を自治会に移管して継続しているものもあり、すべてがやめてしまったわけではない。
- ・委員：補助金は活動を継続するということが条件ではないのか。
- ・事務局：わかば補助金は継続性を一番にはしていない。わかばを活用した学生たちが卒業を理由に継続しないというのはどうしてもある。つつじ、

くすのきについては継続してほしいと思っている。

- ・委員：条件化はされていないのか。
- ・事務局：条件化はされていないが、継続性の高いところを採択するような審査基準になっている。
- ・委員：補助金を申請した団体がどすごいネットに登録していれば、市民センターに退会や悩みの相談があるので支援はできるが、登録がない団体については難しい。また、くすのき補助金について、会費などで資金がある団体がなくなりつつあり、補助金があったら活動できるという団体が増えてきている。自己負担が3分の2、2分の1、3分の1と増えていくのは大変なこと。例えば補助回数を3回から5回にして、緩やかに軽減していくとか、企業基金のようなものをつくって対応するなどしていかないと難しい。また、大きな金額の事業への対応や、学生の活動が継続されていくのか見据えて支援を行うなど、補助金の在り方も考えなければいけない。その辺りも審査の視点にする必要があるのでは。ここで伺いたいのが、募金をしていただける方が少なくなっている中、トヨッキー基金の今後の見込みはどうなっているか。
- ・事務局：全く寄附がないと仮定しても6年間程度は補助金の交付が可能と考える。また、最近は企業から大口の寄附があったりもするので、補助額を大きく変えなければ継続はしていけると考えている。
- ・委員：IT機器を使ったボランティアだと、最初にお金がかかってしまう。国の補助金は金額ありきではなく、割合で交付される。上限の設定は必要だが、割合もありかと思う。
- ・事務局：スタートした際、3回という補助回数に変わりはないが、補助率は全て2分の1だった。しかし初期投資が一定必要であろうということから今のような形に変えてきたところがある。そのような中、3分の2でも厳しいという意見をアンケートでいただいているところ。
- ・委員：審査の方式について、採点の合計点数がボーダーを超えるか否かで判断しているが、8割を超えると100%支援するといったように階層別に支援をするのもよいのでは。また、次回の審議会は団体同士の交流の場の支援等についても具体案が示されるのか。
- ・事務局：交流の関係はセンターと調整しながらにはなるが、センターでも交流の場があるので、いかに周知するか。
- ・委員：活動について団体から伺っている中で、別の団体と一緒にできないか提案はしているが、団体の考え方もあり難しさを感じている。
- ・委員：つつじ補助金を5万円から10万円に引き上げたらどうかということ

だが、議論のきっかけはわかば補助金は10万円なのに、なぜつつじ補助金は5万円なのかということだった。具体的な案は次回示すということだが、事務局は今の制度にどのような課題があると認識しているか。

- ・事務局：アンケート結果から、つつじ補助金の補助上限額について約4割の団体から不十分との声をいただいている。また、くすのき補助金については、急に負担が増えるため対応できないという声をいただいている。その中で補助回数を増やしたらどうかという意見があったが、補助上限の3回まで申請している団体があまりいないなかで、回数の増加は議論が必要である。また、活動の際に固定的にかかる経費が一定あることを確認しており、支援ができないか検討している。わかば補助金は10万円で十分に活動できるという声があるので見直しは考えていない。
- ・委員：最近規模や金額の大きい事業の提案が目立ってきたので、つつじ補助金の増額は必要と考える。くすのき補助金も当初は活動のための道具を少し揃える程度の金額で考えていたが、状況が変わりつつあるため見直しが必要ではないかと考える。
- ・委員：社会福祉協議会ではボランティア活動育成事業を行っているが、補助金の申請において活動実績が必要になるので、スタートに係る経費を補助できる仕組みはありがたい仕組みだと考える。団体に責任感を持ってもらうため補助率を下げているのではと推察するが、同じ事業を3年連続でやるのであれば負担が減る方がよいと思う。また、アンケート結果に団体を解散した理由が記載されているが、新たな活動者を増やしていくということを今まで以上に取り組んでいかなければと感じた。わかば補助金については若い方の支援としては素晴らしい。維持するということが、より良い形でできるものがあれば検討していただけるとよい。
- ・委員：申請内容を見ると校区の活動であるのに補助金が必要なのか、市で支援する必要があるのかと疑問に思ったが、初めて行う活動において補助金は必要なものであるとわかった。
- ・委員：補助金の割合を上げるのはいいが、収支計画は審査されているのか。
- ・委員：提案があった際に見ている。くすのき補助金は3回まで申請することが可能だが、その3回の間でどこまで活動を押し上げていくのかという見通しをしっかりと説明していかないといけない。

## 5 報告事項

---

### (1) 次期市民協働推進計画の策定について

○事務局から、資料2について説明。

- ・委員：対象それぞれにアンケートを取るということでいいか。
- ・事務局：内容が重複するものもあるかと思うが、それぞれの属性に応じたアンケートを実施していく予定。
- ・委員：アンケート案への意見聴取というのは、次回の審議会で行う予定か。
- ・事務局：今回は補助金の審査を予定している。8月後半で審議会を開催し、審議をお願いしたいと考えている。
- ・委員：アンケートの対象となる市民活動団体はどの程度を考えているか。
- ・事務局：市民センターに登録されている全ての団体を考えている。
- ・委員：大学はアンケート対象に入っているか。
- ・事務局：今のところ想定していないが、その辺りも含めて意見を頂きたい。

## 6 その他

---

### (1) 第2回審議会について

○事務局から説明。第2回目の審議会については7月26日に実施予定。議題はつつじ補助金（後期募集）・わかば補助金の審査等を行う

## 7 閉会

---

以上をもって、本審議会を終了とする。

令和6年8月29日

議事録署名者

河井 裕

吉田 典子

## 市民協働推進審議会委員名簿

| NO | 選出区分     | 氏 名               | 備 考                               |
|----|----------|-------------------|-----------------------------------|
| 1  | 学 識      | まぐち ひろゆき<br>菊地 裕幸 | 愛知大学から推薦<br>地域政策学部 教授             |
| 2  | コミュニティ関係 | たかの えいじ<br>高野 英司  | 豊橋市自治連合会から推薦<br>自治連合会 理事          |
| 3  | ボランティア関係 | かわい ひろし<br>河井 裕   | 豊橋市社会福祉協議会から推薦<br>社会福祉協議会 職員      |
| 4  | 事業者      | ほそだ きょうこ<br>細田 京子 | 豊橋商工会議所から推薦<br>豊橋商工会議所女性会 会長      |
| 5  | NPO関係    | よしだ のりこ<br>吉田 典子  | 市民センター指定管理者から推薦<br>豊橋市民センター センター長 |
| 6  | 公募市民     | ながさか ひでき<br>長坂 英樹 |                                   |
| 7  | 公募市民     | ちかだ たいいち<br>近田 泰一 |                                   |
| 8  | 若者（大学生）  | おち たける<br>越智 雄大   | 豊橋技術科学大学から推薦                      |
| 9  | 若者（大学生）  | わたなべ ことこ<br>渡邊 誼子 | 豊橋創造大学から推薦                        |

※任期：令和5年5月10日～令和7年5月9日

《事務局》

市民協働推進課 課 長 中澤 浩英  
主 幹 兵道 邦央  
課長補佐 文野 耕太郎  
主 査 山本 紘史  
主 査 柘植 優子  
主 事 豊田 健二  
主 事 安形 義光